

# 議会だより



町内バレーボール大会(12月1日)町民体育館

## ◆ 目次 ◆

- 条例改正・補正予算等 ..... 2~3
- 特集・公共施設整備4事業の現状について ..... 4~5
- 常任委員会報告 ..... 6
- 12月定例会 賛否表 ..... 7
- 一般質問 6人が町政を問う ..... 8~14
- 視察研修報告 ..... 15
- 議会日誌・町民の声・編集後記 ..... 16

# 防災会議条例の一部改正 ほか5件の条例改正等

# 可決

## 12月定例会で 審議したこと

12月定例会が12月17日から19日までの3日間の会期で開催されました。  
条例の制定及び一部改正等6件、各会計の令和元年度補正予算6件が提案され、すべての議案を原案どおり可決しました。

### 可決された条例の主な内容

#### ○佐々町防災会議条例の一部改正

近年の大規模災害の発生と地域防災計画の改定にあたり、防災会議の所管事務を効果的に遂行し、地域防災力を強化するため佐々町消防局の職員の区分変更と、自主防災組織を構成する者の任命により、自助共助の面から委員の拡充をするものです。(2名増)

#### ○職員給与に関する条例等の一部改正

成年被後見人等について、欠格条項で一律に排除する仕組みから、各資格、職務、業務等に適用した能力の有無を個別判断

する仕組みへ移行する法律の改正に伴い、関係する6本の条例を改正するものです。

#### ○職員給与に関する条例等の一部改正

人事院勧告の内容に準じて一般職の給与改定と特別職職員及び議会議員の期末手当支給率、勤勉手当、住宅手当の改定を行うものです。

#### ○組合交渉を行うって労働者の提案です。

#### ○佐々町森林環境譲与税基金条例制定

地球温暖化防止や間

伐、再造林など、森林整備促進の施策を目的として、国が一人当たり1000円ずつ徴収されたものが、私有林人工林の面積や林業従事者などに応じて市町村や道府県に

積や林業従事者などに応じて市町村や道府県に

森林環境譲与税として配分されるもので、町が実施する森林の整備及びその促進に関する施策に要する経費に充てることを目的として基金を設置するものです。

#### ○現在の長崎森林環境税と今回の基金を使うの兼ね合いと、森林所有者の定義は。

A 期間が来たから見直す

討結果を見たいと思いま

す。所有者の定義は、現在所有されている方、登記されている方として対応していくことになろうかと思えます。

#### ○佐々町水道事業の設置等に関する条例の全部改正

下水道事業の公営企業会計を令和2年4月に移行することに伴い、水道事業の設置等に関する条例に下水道事業を追加する改正を行うもので、内容としては、現在水道事業のみの内容であるため、下水道事業を追加してその区域や規模を追加

#### ○佐々町公共下水道条例等の一部改正

これは充分精査して検討させていただきますので、よろしくお願いたします。

お願いたします。

また、公共下水道条例等の一部改正については、水道事業の設置等に関する条例の改正と同時に、その他改定が必要なものです。

#### ○「規則で定める」を「町長が定める」との改定について、その表現はどうかかなものか。

A 上下水道共に町長が定めるという形で改正を行わせていただきたいと思えます。

これは充分精査して検討させていただきますので、よろしくお願いたします。

お願いたします。



# 令和元年度

# 一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ1億2875万円減額し  
予算総額71億6898万円となる

## 一般会計補正の主なもの

### (歳入)

・個人町民税	現年度課税分	9,000千円
・軽自動車税	現年度課税分	1,900千円
・森林環境譲与税		1,899千円
・子ども・子育て支援臨時交付金	保育所分	8,944千円
	幼稚園分	2,341千円
・社会資本整備総合交付金	住宅事業	△53,065千円
	公園事業	△19,000千円
・元年災農地等災害復旧事業補助金		6,400千円

### (歳出)

・光熱水費	新電力切り換え分で減額	△13,000千円
・航空写真撮影業務委託料		9,240千円
・地域生活支援事業委託料		△10,800千円
・障害者自立支援給付費		△16,000千円
・特別支援学校通学支援移動介護給付費		2,004千円
・障害児通所給付費		△16,000千円
・ごみ処理施設整備基本計画策定業務委託料		△2,100千円
・元年災農地・農業用施設災害復旧工事		8,200千円

## 令和元年度各会計の補正予算

会計名	今回の補正額	補正後の額	
一般会計補正予算(第3号)	128,753千円	71億6898万円	
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	3,059千円	14億4722万円	
介護保険特別会計補正予算(第3号)	保険事業勘定	423千円	11億9706万円
国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)	0千円	937万円	
公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	73,300千円	10億8947万円	
水道事業会計補正予算(第2号)(収益的収支)	176千円	3億6075万円	

# 施設整備4事業特集

現在佐々町では、①し尿等前処理施設整備事業 ②学校給食センター建設事業 ③役場新庁舎建設事業 ④佐々町クリーンセンター施設整備事業の4事業を、大型施設整備の優先課題として取り組んでいます。今回は各事業の現状についてお知らせします。

## し尿等前処理施設整備事業

### 建設までのスケジュール

行います。

#### ◎令和元年度

下水道施設として、全体計画の中に位置づける方針の決定、国庫補助対象事業（採択基準）を満たせるかなどを検討し、現在基本計画を策定中です。

#### ◎令和4年度

投入施設設計及び既存施設の改良設計など実施設計を行います。

#### ◎令和4年度から

土木、建築、機械、電気工事などの建設工事を行います。

#### 令和6年度

◎社会資本整備総合交付金  
下水道広域化推進総合事業（国交省の交付金）を活用して進めます。

### 財源

#### 令和7年度

令和7年度から供用開始予定ですが、各年度の事業を前倒しし、供用開始を早期にできないか検討されています。

◎令和2年度  
全体計画の変更、事業認可変更手続きなどを行います。

#### ◎令和3年度

処理場内の既存施設への影響について、検討方針の決定、ストックマネジメント計画との調整など基本設計を



佐々浄化管理センター  
(浄化処理施設)

# 給食センター整備事業

現在、学校給食は2つの小学校と中学校にそれぞれ給食施設があり、自校方式で給食を提供しています。

しかし、各施設は建設から26年、28年を経過し老朽化しており、

食物アレルギー食への対応も不十分な状況です。また、調理施設内の空調設備等が不十分で給食調理員の作業環境が劣悪であり、衛生管理上も課題を抱えています。

町はこれまで、平成27年に事業計画を作成し、平成28年には「給食施設検討委員会」を設置して、調査検討を経て答申を受け、センター方式による事業化を進めています。

センター方式とした理由は①財政的に有利であること ②自校方式の場合施設の面積が

限られ、困難が生じること ③センター方式のデメリットである調理から配食までの時間が概ね20分以内と短時間に抑えられることなどです。

議会としても、これまで熊本県芦北町・香川県三豊市のセンター施設を視察するなどの検討を重ねてきました。

「自校方式」では、3校分で約9億円の費用が必要となり、国の補助金の対象にもなりません。一方センター方式では約6億円の費用となり、同時に、国の補助金も受けられます。

### 財源

これまで行ってきた「自校方式」では、3校分で約9億円の費用が必要となり、国の補助金の対象にもなりません。

一方センター方式では約6億円の費用となり、同時に、国の補助金も受けられます。

### 施設建設予定地

現在、北部運動公園敷地を第1候補として、ほかに町内4カ所の候補地を検討調整中です。

### 今後の計画

令和2年度中に実施計画を策定し、3年度から建設工事に入り、4年度2学期からの供用開始を目標としています。



三豊市南部学校給食センター内(ドライ方式)

# 役場新庁舎建設事業

50年が経過した現庁舎は、平成23年度に耐震診断を実施しました。結果、耐震性に問題があり、近年の自然災害に対して、防災拠点としての対応が充分にできる状況にありません。

平成26年検討の結果、役場庁舎を建替えることになり、昨年に建設場所等のアンケート調査を行い、新庁舎の建設に係る基本構想案を作成し、12月に町民皆

様からの意見を募集しました。今後は、駐車場の問題や浸水対策など基本構想・基本計画に則り、建設場所を決定し、基本設計を行います。その後、実施設計に着手し、防災拠点となる新庁舎の建設工事を実施し、事務所を移転します。また、現庁舎の解体工事を行い、駐車場の確保に努めます。



佐々町役場庁舎

## 今まで

- ①耐震診断の実施
- ②耐震補強又は建替えの検討
- ③建設費の確保検討

## 検討結果

- ①耐震補強ではなく建替え
- ②建設場所の選定

## 現状

- ①耐震性能が不足し防災拠点に疑問
- ②築50年で老朽化
- ③前面道路が冠水の不安
- ④駐車場の整理方法
- ⑤基本構想・基本計画の策定

## 今後

- ①建替場所を決定し基本設計
- ②実施設計
- ③新庁舎建設、事務所移転
- ④開庁
- ⑤現庁舎解体

# 佐々クリーンセンター整備事業

現在のゴミ焼却炉の老朽化が進んでいます。

町はこの間佐世保市との連携などを検討してきましたが不調となったため、自力で大規模修繕を行い、焼却炉をさらに15年間使い続ける事を検討しています。しかし、その費用は莫大で30億円を上回るとの試算が示されています。政府の各種補助金なども活用する計画ですが、いずれにしても大規模投資とならざるを得ません。

議会としてもこの間、先進地視察を行うなどの研究・検討を進めています。

現在町が示しているプランでは、令和2年度に計画を作成し、3年度に設計、4年度、6年度までに修理を終えて、令和7年度の供用開始をめざすとして



佐々クリーンセンター

# 常任委員会報告

## 産業建設文教委員会

### 所管事務調査

11月20日(水)

#### 1. 条例等について

① 佐々町水道事業の設置等に関する条例の全部改正について

公共下水道事業特別会計は令和2年4月に地方公営企業法の適用を受けることとなり、水道事業の中に取り組み予定で12月議会に提案するとの説明を受けた。

また、用途については今後検討するとの説明を受けた。

明を受けた。

② 佐々町公共下水道条例等の一部改正について

水道事業会計に下水道事業を追加するため、特別会計条例や職員定数条例の改正など必要な条例の整備を行うとの説明を受けた。

水道事業会計に下水道事業を追加するため、特別会計条例や職員定数条例の改正など必要な条例の整備を行うとの説明を受けた。

けた。

#### 3. その他報告

① 強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業について

② 下水道事業の公営企業会計への移行について

③ 浄水場の管理業務委託について

④ し尿等前処理施設の整備について

⑤ 佐々町債権管理条例(案)について

⑥ 道路網整備計画について

⑦ 学校給食施設整備について

⑧ 西九州自動車道建設促進について

⑨ 東彼杵道路建設促進について

⑩ 埋蔵文化財包蔵地調査について

⑪ プレミアム付き商品券事業について

その他、6件について報告を受けた。

## 総務厚生委員会

### 所管事務調査

11月15日(金)

#### 1. 条例等について

① 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

② 佐々町防災会議条例の一部を改正する条例

#### 2. 地域福祉計画について

① 地域福祉計画(案)の報告

地域福祉計画は、平成30年の社会福祉法改正により、各福祉分野の上位計画としての位置付けが行われている。本町では今回初めて、令和2年から5カ年計画として今年度策定を進めている。この報告を受けた。

報告の中では、重点施策として

(1) 移動支援と安全安心

○ 官民連携による新たな公共交通サービス

を模索。

○ 危険箇所情報、避難行動計画づくりに向けた、各地区の話合いの場へのファシリテーター派遣と研修機会。

○ 活動拠点と相談窓口

○ 包括支援センターや健康相談センター・福祉センターを情報ネットワークの拠点と位置づけ、その運営体制については指定管理者制度の導入などを検討している。

(2) 活動拠点と相談窓口

○ 包括支援センターや健康相談センター・福祉センターを情報ネットワークの拠点と位置づけ、その運営体制については指定管理者制度の導入などを検討している。

(3) 持続可能な社会参加と促進

○ これまで地域活動を支えてきた町内会役員・民生委員の後継者についての不安があり、現役世代の地域活動参加促進のための支援の実施。世代間循環のためにこ

ども達にも佐々町の良さを伝えていく、子ども子育て支援事業計画と連動させる。などの説明を受け、質疑を行った。

現在作成中の第2期計画(令和2年度から6年度まで)の5カ年計画(案)について、説明を受け質疑を行った。

現在作成中の第2期計画(令和2年度から6年度まで)の5カ年計画(案)について、説明を受け質疑を行った。

良さを伝えていく、子ども子育て支援事業計画と連動させる。などの説明を受け、質疑を行った。

現在作成中の第2期計画(令和2年度から6年度まで)の5カ年計画(案)について、説明を受け質疑を行った。

# 令和元年12月定例会 賛否表

○は賛成 ×は反対

議案番号	議案件名	須藤敏規	浜野 亘	永田勝美	長谷川忠	阿部 豊	永安文男	橋本義雄	平田康範	淡田邦夫	川副善敬	評決数	結果
73	職員の給与に関する条例等の一部改正の件〔成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図る〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	川副議長は採決に加わりません	9対0	可決
74	職員の給与に関する条例等の一部改正の件〔人事院勧告に伴い一般職員の給料及び手当並びに特別職の手当の改定〕	○	○	×	○	○	○	○	○	○		8対1	可決
75	佐々町防災会議条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
76	佐々町森林環境譲与税基金条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
77	佐々町水道事業の設置等に関する条例の全部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
78	佐々町公共下水道条例等の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
79	令和元年度 佐々町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
80	令和元年度 佐々町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
81	令和元年度 佐々町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
82	令和元年度 佐々町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
83	令和元年度 佐々町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
84	令和元年度 佐々町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決

- 11月25日(月)**
- 1. 条例等について**
- ① 職員の給与に関する条例等の一部改正について
  - ② 佐々町水道事業の設置等に関する条例の全部改正について
  - ③ 佐々町公共下水道条例等の一部改正について
  - ④ 佐々町森林環境譲与税基金条例の制定について
- 2. し尿の処理について**
- ① ごみ処理施設の長寿命化対策について
  - ② し尿処理施設の整備について
- 3. 未利用町有地活用について**
- ① 佐々町未利用町有地活用基本方針(案)について
- 4. 財政について**
- ① 基金の再編について、企画財政課より再編案について説明を受け、質疑を行った。
- 5. その他報告**
- 1. ふるさと納税について
  - 2. 子育て世代包括支援センターの設置について
  - 3. 国民健康保険事業費納付金について
  - 4. 固定資産土地評価(路線価)業務進捗状況について
  - 5. GIS航空写真を活用した固定資産現況確認について
- 6. 神田保育所移転計画(案)について**
5. マイナンバーカード交付円滑化計画について
- 総務課より上記基本方針案について説明を受け、質疑を行った。
7. その他

**平田康範 議員(一問一答) …………… 9**

- ① 一般質問の「その後」について

**長谷川忠 議員(一問一答) …………… 10**

- ① 小・中学校給食施設整備に係る住民説明会開催の進捗状況は
- ② 公園施設新設などを行う場合、住民の意見交換などは行っているのか
- ③ 今年の8月・9月における想定外の大雨がもたらした今後の本町河川対策は

**浜野 巨 議員(一問一答) …………… 11**

- ① 国土強靱化地域計画と佐々川氾濫等の災害の想定について
- ② 庁舎建設基本計画や地域福祉計画等の策定業務委託について
- ③ スポーツの振興と学校行事との関係性について
- ④ 観光協会の「市瀬川ホテル再生プロジェクト」について

**永田勝美 議員(一問一答) …………… 12**

- ① 「町内循環バス」について
- ② 保育園の給食(副食)費負担について
- ③ 国保制度の改善に向けて
- ④ 町政の基本姿勢について

**淡田邦夫 議員(一問一答) …………… 13**

- ① 町長3期目の公約に対する実施度合いは
- ② 佐々町全体として防災訓練をおこなっては
- ③ 農業体験施設の使用状況はどのように

**橋本義雄 議員(一問一答) …………… 14**

- ① 維持管理について
- ② 通り抜けできない道路の整備について
- ③ 農産物のブランド化について
- ④ 福祉バスについて



佐々町消防出初式 令和2年1月6日(月)

- ◎一般質問の記事について
- ◎一般質問方法

質問した議員が執筆したものです。

【一括質問一括答弁】 議員が質問項目すべてを一括して質問。その後町側がその質問項目について一括して答弁を行います。

【一問一答方式】 文字どおり一つの質問項目ごとに町側から答弁を行います。



平田 康 範

## 過去の一般質問「その後」の検討結果は

文化会館前駐車場の利用状況と適正管理、地域防災力に向けた取り組みなどの質問に対し、検討すると回答を得ているので、その後の検討結果と今後の方針を質した

### ■ 質 問

平成28年12月の定例議会で質問した文化会館前広場は、町営駐車場と国道側のふるさと広場が隣接して駐車場の形態を成しているが、町営駐車場管理規則に沿った管理をすべきと思うが今後の方針は。

### ■ 町 長

満車状態になっており、役員職員の車と思われるが、一部は近くの事業所に勤めの方が駐車されているのは確認しています。

今後、全体的な見直しが必要と考えます。



文化会館前の町営駐車場

### ■ 質 問

質問して3年が経過しているが、検討が進んでいないのが現状と思われる。

適正な管理を行う手段としてフリーゲートの設置について伺っている。

回答は、「フリーゲートの設置は有効な方法と思うが、全体的な見直しの中で検討する」とのことであった。

どのような検討をされているのか。

### ■ 町 長

内部検討はしたが、国道からゲートまでの長さ、文化会館までのスペースなどが厳しく整備が必要と思われます。

ゲートを設置した場合は旧訓練校側からの車両通行の規制も必要です。

また、国道側の広場は、ふるさと広場として買収した経費もあります。

効率的に、合理的に全体的にどうできるのか引き続き検討します。

### ■ 質 問

災害発生時に欠くことができないのが消防団組織であるが、消防団活動の支援などを行う機能別消防団組織が多く自治体で導入されている。

平成28年6月議会においての回答では、「団長より補助団員制度を利用したいと伺っているので、研究している。要綱を制定しながら前向きに考える」とのことであったが、その後の検討と今後の方針は。

### ■ 町 長

分団長会で導入自治体を参考に補助団員の役割とか指揮命令系統の検討が行われています。

議会の意見を聞きながら取り進めていきたいと考えています。

### ■ 質 問

地域防災活動の拠点となる消防団詰所の整備については、

1分団、4分団、5分団、7分団は耐震が満たしておらず、

4分団、5分団は建て替えの考えを示唆されたが、その後

の方針は。

### ■ 町 長

建て替え計画は、財政状況とか財政力を見極めながら検討が必要です。

町としては、建て替えを目指していきたいと考えています。

### ■ 質 問

農業体験施設の青空広場横のトイレは汲み取り式で和式のため、水洗化へ改善を求めているが、検討が進んでいない。

今後、検討されると思うが結論が出るまで、水洗式の仮設簡易トイレを設置したらどうか。

### ■ 町 長

簡易水洗については、250万円程度と伺っており、そういう方向性を勘案しながら検討します。



地域防災の拠点 消防団詰所

# 給食施設建設予定地 住民説明会の進捗状況は

## 北部運動公園を優先させて頂きたい

他の候補地である(春の山跡地・ライスセンター跡地・農業体験施設敷地・小浦免羽恵崎町有地)は検討したのですか



長谷川 忠

### ■ 質問

令和元年11月13日19時より北部体育館で開催された、5町内会(市瀬・鴨川・松瀬・若佐・北)の方を対象に、小・中学校給食センター方式による施設建設計画の住民説明会では、多くの反対意見が出たようですが、その後の経過は。

### ■ 教育長

給食センター方式に対する反対ではなく、現在使用されている北部運動公園敷地内に建設することに対しての反対意見が多かったと思います。

北部運動公園敷地は4800㎡あり、建設敷地は約2500㎡が必要で、残地2300㎡を運動施設として利用することで、ご理解頂けるのではと考えています。

### ■ 質問

他の候補地の中からは検討されないのか。

### ■ 教育長

再度、他の候補地の現地視察など、検討調査しましたが、北部グラウンドが最適地と判

断し、地元をお願いしたいと考えています。

## 公園施設の住民意見交換会の実施は利用される皆さんの意見を重視していきたい

### ■ 質問

公園施設長寿命化(皿山公園)の事業計画、パブリックコメントなどはされていないのか。

### ■ 町長

遊具施設の更新にはパブリックコメントとかデザイン的一般公募とは異なりますが、町内の幼保・小中学校職員を対象としたアンケート調査を実施、その結果を参考に設置遊具を決定しています。

### ■ 質問

町内の公園管理において遊具劣化などの点検は行っているのか。

### ■ 建設課長

遊具点検は毎年1回(夏休み

前)町職員でチェック項目を設けて、破損等の確認・補修・改修をすべての公園で行っています。

## 本町の河川治水対策は

## 国・県の状況を見ながら治水対策を考えていく

### ■ 質問

国の調査で「氾濫危険水位」を超える事例が全国で474件に達し、そのうち3割を九州7県が占めています。水位超過はこの数年で増加、本町の治水対策は。

### ■ 町長

今年8月の秋雨前線の豪雨により、道路8件・河川4件・農地4件・農業施設5件の被害が発生し、現在も復旧に向けて業務を進めています。

本町の河川については、定期的にパトロールを行い適切な維持管理をし、治水対策を講じていくように県のほうにも要望等を行っています。

### ■ 質問

自然災害の発生時には、住民の避難費用を保障する保険制度があり、避難所施設や住民に配布する飲食品の費用、職員の残業代も保障することなどで、災害が多発し避難費用の不安を解消したい市町村が、多数加入しているそうですが、本町では保険加入のお考えは。

### ■ 総務課長

本町は、すでに保険加入しています。





浜野 亘

## 佐々川の左岸側堤防が危ない 国土強靱化地域計画の中で進めるべき

### 佐々川の堤防が弱い箇所があると承知している 管理者である県に相談しなければならない

台風19号などで全国的に豪雨をもたらした。堤防が決壊したが、昭和42年7月9日の佐々川の氾濫を思い出した。堤防が決壊してしまうと、中央地区の排水ポンプが役に立たなくなるので、国土強靱化により佐々川堤防敷の強化を図るべきと思ひ質問した。

#### ■ 質問

配布されたハザードマップでは、町の中心部がほとんど浸水区域になっているが、対策はどのような考えか。

#### ■ 町長

佐々川は、管理者である県と連携して脆弱性がある箇所を強靱化したい。

#### ■ 質問

佐々小学校の佐々川上流部は、昭和42年に堤防決壊した。今のままで大丈夫なのか。

#### ■ 町長

堤防敷の上部1m位が土羽になっているので、県に相談しなければと思っています。



佐々川左岸堤防の脆弱性

計画書策定の業務委託で無駄遣いはやめて

職員の配置は難しいし過度な負担は避けたい

役場庁舎建設基本計画や地域防災計画等の策定業務は、業者委託をしているが、結論ありきの考えなら委託は不要である。委託料が高額であるし専門性が必要ならば、あらゆる角度から検討させるべきだと思ひ質問した。

#### ■ 質問

随意契約での専門的な業務委託により、税金の無駄使いとならないのか。

#### ■ 町長

計画策定のためだけに人員配置は厳しいし、職員に過度な負担は避けたい。

#### ■ 質問

地域防災計画、庁舎建設基本構想・基本計画や総合計画・総合戦略の策定費用はいくらか。

#### ■ 総務課長

それぞれ約3074万円、2376万円、約1847万円です。

学習発表会の期日は変更できないか

学校と協議し試行的に実施してみたい

県民体育大会と小学校の学習発表会の開催期日が重なり、保護者は学校行事を優先され選手派遣が難しい状況が数十年続いている。スポーツ振興の観点から、まず考えはないかについて質問した。

#### ■ 質問

県民体育大会と学習発表会の期日をずらせたいのか。

#### ■ 教育長

学校と協議して、来年度は試行的にやってみたい。

ホテル再生プロジェクトに協力できないか

地域振興と皿山活性化になるので検討したい

皿山公園内にホテルが飛んでいるが、観光協会や町内会有志で再生プロジェクト

がスタートしたので、町として学校や行政が出来る範囲で取組に協力できないか質問した。

#### ■ 質問

持続可能な特色ある活動として、小学校のクラブ活動的に取り組んではどうか。

#### ■ 教育長

学校と話し合いをする必要があると思います。

#### ■ 質問

教育に使用すると安全面を第一に考えた整備が必要と思うが。

#### ■ 町長

地域振興を考えれば、皿山活性化につながると思います。



ホテル再生プロジェクトが始動した皿山公園内の市瀬川

# 保育所給食費は無償化すべきでは

## 園児数が多く、財政がきびしい

消費税の増税と引き換えに「無償化」とされた3歳児以上の保育料。しかし、副食費として月額4500円の負担が残っている。近隣では自治体が支援しているところもある中、佐々町でも無償化できないか検討を求めた。



永田勝美

### ■質問

保育所給食費を負担している子育て世帯の、実質可処分所得は、1997年(平成9年)をピークに下がり続け、最新の統計では1985年(昭和60年)の水準を割り込んでいる。

いまの子育て世帯は、昭和の時代より「貧しく」なっている。その上に消費税10%でポイント還元など差し引いても4人家族で67000円も負担が増えた。平戸市や松浦市では副食費を含めて自治体が支援すると報道されている。町として無償化の支援は出来ないのか。財源としては一般財源として減額される分も投入すべきだ。

### ■町長

私も子育て世帯の応援は同意見だ。少子化の背景には所得の問題も一因というところはわかります。しかし、佐々町では3〜5歳児の園児数が457人と他所より多く、年間



町立第2保育所給食風景

の副食費支援には2467万8000円必要であり、きびしい金額とご理解いただきたい。町として今後どうするかというのは検討させていただきたい。

## 保育所民営化は見直すべき

### 国の方針で財政的な事を考えざるを得ない

### ■質問

一般の総務委員会で「町立保育所の民営化」という発言があったが、重大な発言だ。

いま常勤保育士が足りなくて、フルタイムの非常勤でという計画があるが、民営化をどう考えているのか。

### ■町長

私も公立保育所があったらいいわけですが、国がそういう方針を出しており、財政的にきびしくなるので、できるところは民間にするのがいいんではないかと考えています。民営化の時期については準備を整えてやっています。

### ■まとめ

町立保育所が次々に民営化された中で、病児保育・医療ケア児の対応など民間では難

しい問題もある。「一つはどうしても残してほしい」という町民の声を尊重すべきだ。

町立保育所の存続・維持にむけて、そこで働く保育士さんなどと、よく議論していく必要がある。



### ※そのほか

①町内循環バスの実現の促進

②子供さんへの国保税の均等割課

税の減免

③国保滞納者への資格証明書発行

やめよ

などの内容で質問を行いました。



淡田 邦夫

## 町長の3期目の公約に対する実施度合いはどうか

### 任期中に達成できるように取り組んでいきたい

公約として誰もが安心して暮らせる為に、犯罪や交通事故から町民を守るとなっている。また、し尿等前処理施設整備を掲げているがどのように計画しているのかを求めた。

#### ■ 質問

江迎警察署管内において、佐々町中央海岸線の交通事故発生が特に多い。高速インター前の交通量調査では7時から19時までの12時間で2万6千271台通過し、時間当たり約2千200台通過している。朝夕のラッシュ時は、4千台は通過していると思う。高速道に入るまでの信号待ちは4〜5回ある。交通量の軽減をどのように考えているのか。

#### ■ 町長

西九州自動車道の入口に向けて北部から利用が集中している。中央海岸線の渋滞緩和は、町全体の道路網計画の中で一緒に検討する必要があると思います。

#### ■ 質問

大塔〜佐々間の4車線化は令和9年の完成予定、松浦〜佐々間の高速道が10年後の完成と聞くと、その間このまま放置するのか。

#### ■ 建設課長

現在の中間報告で委員会に報告したように交通量調査を行い、これを基にして道路計

画の問題点を見出ししていきたいです。

#### ■ 質問

高速道が開通した場合、スロークー現象を起こさないように、佐々町が活性化するように道路網の計画を行っていたきたい。例えば、福祉センターから赤崎線までの道路計画はあるのか。

#### ■ 建設課長

以前から、一般質問でも何人の方から質問があり、渋滞緩和のためには一つの方法と思う。現在、道路網計画の中で検討している状況です。



ラッシュ時の佐々インター入口

#### ■ 質問

し尿等前処理施設の整備計画で、小浦地区の方々へ平成30年11月に住民説明会と現地視察を行い、1年以上その後の報告がなされていないのは何故か。

#### ■ 町長

まことに申し訳ありません。し尿等前処理施設の整備の交付金が3種類あり、一番有利だという交付金検討に時間がかかり、住民の方へ示す材料がなかった。地元の方の3町内の会長さんにも相談、調整させていただきます、ご説明します。

### 佐々町全体として防災訓練を行ってはどうか 消防団の分団単位で行いたい

誰もが安心して暮らせるためには、町の防災力を高め、被害を最小限度にとどめるためには町全体で防災訓練を行うべきではないのか。

#### ■ 質問

令和元年度は、全国各地において台風、大雨被害が発生して亡くなられた方が多くおられる。

防災マップ・避難訓練の研修会等を各町内会で行っているが、佐々町において大雨による佐々川の氾濫、土砂崩れがあるとも限らず、佐々町全

体として防災訓練を行ってはどうか。

#### ■ 町長

防災訓練は、小さい単位で実施した方が皆さんに周知できます。モデル的に複数の町内会を対象に、消防局・警察とも連携しながら、消防団の協力を得ながら実施したいと考えます。

#### ■ 質問

防災マップに、防災については自助・共助・公助となっており、小さい単位での実施とはどの単位か。

#### ■ 総務課長

小さい単位とは、分団単位で複数の町内会が集まってできればと考えています。

### 農業体験施設の利用状況はどうか

以前は農業体験施設を利用して、一日レストランや婚活イベント等が開催されていたが、施設の利用拡大をすることができないのか。

# 花を咲かせる管理を



橋本 義雄

## 植栽管理は整えていきます

### ■ 質問

佐々町は多くの樹木、植物が植えられています。今から冬を越し春に花を咲かせる樹木が大半です。それらの管理を今後どうされていくのか。

### ■ 町長

外部管理を検討しているが予算的に厳しいと思います。

### ■ 質問

春に咲く作物は、花が咲き終わると又1年かけて花を付ける準備をするわけですから、管理者も花が咲くよう努力するべきだ。桜は、6月の初めから7月にかけて花芽がつくが、管理をどうする。

### ■ 建設課長

公園・花等を担当する班を作ってはどうかと担当課としては考えているところです。



冬～春にかけての管理を(真竹の枝垂れ桜)

### 道路維持管理の現状は

その都度必要に応じて業務を行っている

通り抜けの出来ない道路の整備は

通り抜けが出来るよう努力をさせて頂きたい

### ■ 質問

災害時の避難道路として、又緊急時の道路として必要不可欠と思われるところが有ります。安全安心な生活道路として、住民の要望をくみ取ることとは出来ないのか。

### ■ 町長

限られた予算の中で優先順位をつけながら整備していかねければならないと思っています。



緊急時・安全安心の生活道路として必要

佐々町の農家が栽培している米をブランド化してはどうか

農業委員会、産業経済課で検討させてい  
ただきたい

### ■ 質問

佐々川の水で作られた佐々川米と、棚田で作った棚田米をブランド化することで、農家がやる気が出、農家の所得向上、農業振興にもつながってくるのではないかと。そして地元の米は地元で販売したらどうか。

### ■ 町長

取り組もうということであれば、町としても支援をして行かなければならないと思います。

福祉バス運行計画を  
早期に

福祉計画の中で高齢者の移動手段というのは十分考える

### ■ 質問

佐々町は、これから高齢者が多くなり、中山間地域のことを考えると、今のタクシー初乗りチケットだけでは、地域住民の生活交通の確保は出来なくなると思う。福祉バス事業の早めの検討をすべきだ。

### ■ 町長

高齢者などに負担をかけない移動方法を考えていかなければならないと思います。

# 先進地視察研修

## ●研修月日

令和元年 11月5日・6日・7日の3日間

## ●参加者

議員 10名 議会事務局 2名

産業経済課 1名 教育委員会 1名

総務課 1名

## ●研修地 香川県三豊市

### バイオマス資源化センターみとよ

①日本で初の「トンネルコンポスト方式」として設置。

②収集したゴミを当日処理する方式のため、腐敗臭がほとんど気になりませんでした。

③収集したゴミを発酵乾燥させるため、ゴミの量の半分を占める水分が除かれ、重量が半分となる。最終的には粉碎圧縮されて固形燃料化するシステムである。製造された燃料は石炭と代替できるカロリーを有すると説明されており、大変優れたリサイクルシステムであり、

④ゴミの焼却前処理としても大変有用で、ゴミ削減のツールとしても有用と考えます。

⑤発酵時の臭気もほとんど解消されており、脱臭装置も規模は大きいがコンパクトで長期利用に耐え得るものであると認識しました。

⑥本町に活用する場合はいくつかの課題もあるが、当面検討している「長寿命化」工事の検討に当たって、事後の計画としても有用であると感じました。

### 南部学校給食センター

香川県三豊市南部学校給食センターは、平成21年より学校給食検討委員会を立ち上げ、平成26年南部給食施設造成工事・建設工事着工のち、平成28年より民間企業との\*プロポーザル方式にて幼稚園・小中学校に3800食の業務を行っています。

また、調理施設は環境面・安全性に配慮し、オール電化を採用されています。

給食センター施設は、山間部に位置しているため虫などの害虫混入を防ぐために、コンテナ搬入室より配送車出口には密閉性の高い扉開口を採用されています。

\*プロポーザル方式

業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に複数の者に目的物に対する企画を提案してもらいその中から優れた提案を行った者を選定すること。

## ●研修地

香川県さぬき市

豊田自治会

## ●研修内容

中山間地域直接支払制度を活用した豊田集落協定

## 集落協定までの経緯

平成7年頃、自治会全域にイノシシやサルが出没し始め、自治会の将来に危機感を覚えた有志が自治会ぐるみでの対策を呼び掛けるも個々の意識のズレや経費面で折り合いがつかず断念。

自治会を次の世代に残したいとの思いで東讃農業改良普及センター、さぬき市の獣害対策の技術的支援と中山間地域直接支払事業、県の総合整備補助事業を活用し、平成18年より取り組みされ今日に至っています。

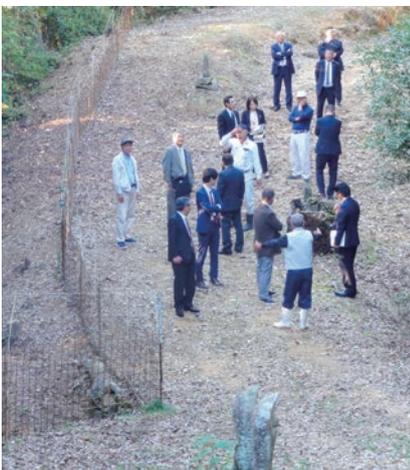
## 主な取り組み

- ①自治会を囲む延長4キロメートルの侵入防止柵の設置
- ②鳥獣ストップゾーンの設置
- ③年3回の維持管理

しかし、「獣害のない



バイオマス(トンネルコンポスト施設)



鳥獣ストップゾーンに設置されているワイヤーメッシュと電気柵の複合柵

# 議会日誌

## 〔11月〕

- 21日 議会だより編集委員会
- 20日 西九州自動車道 佐々IC～大塔IC間 4車線化 着工式典
- 19日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (衆議院、参議院議員会館、自民党本部、財務省 国土交通省)
- 18日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事、長崎県議会議長、長崎河川国道事務所、佐賀県知事、佐賀県議会議長、佐賀国道事務所)
- 17日 西九州自動車道建設促進協議会 理事会及び要望活動(九州地方整備局)
- 16日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)
- 15日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)
- 14日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)
- 13日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)
- 12日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)
- 11日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)
- 10日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)
- 9日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)
- 8日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)
- 7日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)
- 6日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)
- 5日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)
- 4日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)
- 3日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)
- 2日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)
- 1日 西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (長崎県知事)

# 町民の声

## 雇用の創出について

藤永 諭

定住人口の増加には雇用創出が不可欠です。佐々インターが開設して以来、佐世保市は企業誘致が盛んです。佐々町はどうでしょう。目立った誘致はありません。小浦地区の土地が度々議論されていますが、未だ未解決の中町内には町有遊休地が点在しています。小さなIT企業などの誘致は可能だと思えます。少し目線を変え検討してはいかがでしょうか。



## 次回定例会の傍聴ご案内

3月を予定しています。日程については、広報無線、佐々町公式ホームページでお知らせします。

12月定例会の傍聴者数は18人でした。

## 町民の声を募集中!

TEL 62-2101  
FAX 63-5398

## 議会だより編集委員会からのお願い



「佐々町議会」の腕章を着用した議会だより編集委員が、取材の折に写真撮影を行うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 議会傍聴アンケート募集

佐々町議会では、傍聴をされた方からご意見・ご要望をいただき、今後の議会運営に役立ててまいりたいと考えています。アンケート用紙につきましては、議場傍聴席入口に設置してありますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 編集後記

暖冬に季節感を覚えることもなく迎えた新春。皆様には、お変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。平成より令和と元号も変わり、夏には、半世紀ぶりとなる東京オリンピックの開幕。特需景気は期待されていますが、果たしてどうなるのでしょうか。令和元年9月定例会第132号で数字が間違っって掲載されました事は、本当に申し訳ございませんでした。議会だより編集委員一同、深く反省している次第であります。今後は、編集作業には注意を怠り無く、気を配り編集に臨みますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(長谷川 忠)

佐々町議会だよりはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

印刷／有限会社 立山印刷